

緑の募金 だより 春 2019

皆様から寄せられた大切な「緑の募金」を
国内外での森づくり、人づくりに活用しています。

人々と森林をつなぎ、
森林がもたらす豊かな暮らしを未来につないでいくために、
緑の募金は、地域の人々の身近な緑化活動や
次世代が参加する森林体験活動などの支援に、
大切に活用されています。



親子での植樹活動（福岡県）



緑の募金

「緑の募金」にご協力をお願いします

春の新緑シーズン(1～5月)と秋の紅葉シーズン(9～10月)を中心に
家庭募金・街頭募金・職場募金・企業募金・学校募金などによって行われています。



サクラの樹勢回復で、人々が集まり地域が元気に！



滋賀県高島市
SHIGA

70年前から琵琶湖畔に植えられてきた海津大崎のサクラ並木。
「日本のさくら名所100選」に選ばれています。

滋賀県高島市

琵琶湖の北西に位置する高島市海津大崎のサクラ並木は、地域のシンボルとなっています。しかし、近年サクラテングス病が蔓延し、その対応に苦慮していました。そのようななか、樹木医の指導のもと地域の皆さんは、感染枝の剪定、枯れ枝の除去、土壌改良などの樹勢回復に取り組みました。

「治療を施したサクラは春の花付きが良くなりました。花見に訪れてくれる多くの人にきれいな花を楽しんでいただけます。」
美しいマキノ・桜守の会会長 江端英嗣さん

「住民が主体となってサクラを守ることで、地域への愛着も深まりますし、地域が元気になります。」
高島市地域振興局マキノ支所主任 曾根正彦さん

「緑の募金」は地域のシンボルである樹木の保全活動を支援しており、滋賀県では平成29年「海津大崎のサクラ並木樹勢回復事業」、平成30年「マキノ高原千本桜の樹勢回復事業」を支援しました。



サクラテングス病に侵された枝や枯枝の剪定は専門家がいき、土壌改良は地域の人々が参加して行いました。



美しいマキノ・桜守の会



牧野区の勉強会。樹木医を講師に、樹木の基礎知識と保全作業について学びました。「地域の人たちが共通認識を持つことが大切」と樹木医の北村正隆さん

写真協力・高島市

地域の人々と全国からの参加で着実に甦りつつある海岸林



宮城県名取市
MIYAGI

宮城県名取市

名取市の海岸林 (2018年5月撮影)。

宮城県名取市では、名取市海岸林再生の会と公益財団法人オイスカ(東京)によって「東日本大震災復興支援海岸林再生プロジェクト10ヵ年計画」が平成23年の震災直後からスタート。関係者が協力しながら海岸林(約100ha)整備に取り組んでいます。震災から8年、海岸には着実にマツ林が甦りつつあります。

「自分たちで海岸林を育てていくことは、防災や防風といった機能の回復はもちろんですが、私たちにとってはふるさとそのものを再生する取り組みです。」

名取市海岸林再生の会会長 鈴木英二さん

「全国のボランティアの皆様の協力は、大きな被害を受けた市民にとって大きな力となっています。海岸林造成には長い年月がかかります。これからもご支援をお願いいたします。」

名取市農林水産課長 大澤博さん

「緑の募金」では、海岸林の整備を支援しています。引き続き、被災地の復旧支援を進めてまいります。



植樹後4年のマツは背丈を超えて成長しています。

海岸林に植えられるクロマツ苗木は地元の皆さんが育てています。



これまでに参加したボランティアは全国各地から9000人を超えています。

写真協力・公益財団法人オイスカ

森林のある豊かな暮らしを**未来**につなぐために

全国各地での**森づくり**、**人づくり**を支援しています。

子どもたちを育む自然体験活動を応援！

森づくりのリーダーを育てる活動を応援！

「私たちの生活において、森林がいかに重要な役割を担っているか」を体験を通じて知り、学んでもらうことを目的に、森や里山での「体験学習」を行っています。

持続可能な森づくりをめざし、だれでも参加できる安全で楽しい森づくりを実施するための人材育成活動を行っています。



親子参加での間伐体験活動



倒木を利用した玉切り・薪づくりなどの体験活動



地元小学生の林業体験活動



手道具による伐木実習活動



小学生の冬芽観察活動



子どもたちの自然観察活動



水源地での植樹活動



樹木を獣害から守るための保全活動



里山の整備活動



地域の森を守る下刈り活動



里山と生活のかかわりを伝える講習活動



津波被害を受けた海岸林の植樹活動



小学校での植樹活動



基盤整備された津波被害海岸林での植樹活動

森の活力を支えるための植樹活動や下刈り、間伐などを地域住民とボランティアの人々が一緒になって行っています。

大きな被害を受けている被災地域での防災林等の森林整備や居住地域周辺、学校周辺の緑化を行っています。

国内の森を元気にする植樹や保全活動を応援！

災害被災地の復旧や緑のある豊かな生活を応援！

海外での**森林保全活動**にも大切に活用されています。

パレスチナ

パレスチナ自治区ナブルス県では、採石場からの粉塵被害によりオリーブ生産量の減少や健康被害が報告されている。その地域において防塵を目的とした森づくりのための植栽地での環境調査や植樹活動を支援。



ネパール

ネパール、ヒマラヤ山岳部に住む住民の生活燃料は100%を森林資源に頼って暮らしている。そのため、自然林は年々破壊後退をしている。地元住民に育苗の技術を伝え、住民による植樹活動と同時に、学生たちへの環境教育プログラムとしての植樹体験会の開催を支援。



インドネシア



インドネシア東ジャワ州のマドゥラ島の14の学校で、乾季での深刻な水不足や雨季での大洪水の被害を防止するために行われた水保全に向けた植林活動と持続的な保全活動を促進するための環境教育活動を支援。



ケニア



ケニア・イシンヤ地区は慢性的な干ばつ被害に加え、住民は遊牧民であり、植林への意識が低く、家畜の過放牧により多くの樹木が失われている。そのため、同地区にある3つの小学校で児童、保護者、住民の緑化意識の向上を図るための植樹活動を支援。

「**緑の募金**」では、さまざまな**参加方法**を実施しています!

「緑の募金」は家庭募金、街頭募金、職場募金、企業募金、学校募金などを行っています。

また、より一人でも多くの人に参加してもらえるように、日々の生活の中で参加、協力ができるさまざまな方法を実施しています。

街頭募金で



自動販売機で

緑の募金のマーク付き自動販売機は、販売額に応じて一定割合が募金にあてられます。
写真提供：ダイドードリンコ株式会社



寄付金付き商品で

寄付金付き商品を購入すると、その販売価格の一部が募金にあてられます。食品、衣料品、家電製品、出版物、日用品など協賛商品は多岐にわたります。

写真提供：江崎グリコ株式会社



コンビニやスーパーのレジ横で

レジの横に「緑の募金」へ協力をする募金箱が置かれています。

写真提供：株式会社ファミリーマート
株式会社ローソン

カード類で

クレジットカードの利用ポイント、クオ・カードの購入額の一部が募金となります。

写真提供：JXTGエネルギー株式会社
株式会社クオカード



あなたの家に眠っている「お宝」で

家庭に眠っている物品(お宝)を受け入れ、査定額が募金となります。

提供：お宝エイド®

緑化運動のあゆみ

蘇った襟裳の春

クロマツ林の所々に、カシワなどの広葉樹が根を張る。ヒット曲で知られる襟裳岬がある北海道えりも町の岬地区。強風と闘いながら、官民連携の緑化事業は60年を過ぎた現在も続けられている。

昆布など豊富な海の幸に恵まれた地区だったが、燃料や暖房用に木が伐採され、昭和初期には「襟裳砂漠」と呼ばれた。漁場を育む森が消え漁獲量は急減、家屋も砂に埋もれ集団移転が検討された。緑化が始まったのは1953年。試行錯誤の防風、凍土対策や試植を経て、海風に強いクロマツを植えた。半世紀を過ぎて植林を大方終え、漁獲も回復した。曲の歌詞にある「何もない春」どころか、春を告げるヒバリの声が林間に響き、緑の芽吹きとともに新たな生命の息吹を感じさせる。

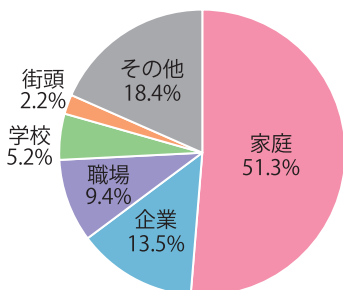


襟裳緑化の歴史は、森林の重要さと、失われた森の再生がいかに困難を伴うか、を教えてくれる。 (毎日新聞記者・山本悟)

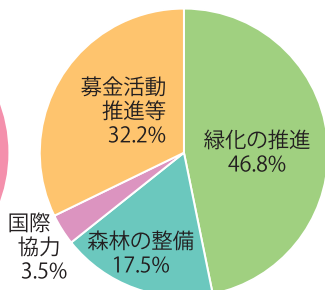
平成30年に
皆様から寄せられた緑の募金は、
約21億円になりました。
ご協力ありがとうございました。



ご協力いただいた分野



緑の募金の使途



緑の募金は、
皆様からの募金を適正に運営管理しています。

募金

公益社団法人国土緑化推進機構 都道府県緑化推進委員会
全国的及び国際的な活動(中央事業) 各都道府県内での活動
運営協議会・学識経験者等が審議

- 国内の森を健全にする
- 地球の緑を増やす
- 森づくりリーダーの育成
- 森を活用し、子どもを育む
- 森林にふれる仕組みづくり
- 被災地(北海道、東日本、西日本、熊本)での復興事業

募金するには

- コンビニなど店頭で
- 家庭、学校、職場で
- インターネットで
- 振込用紙で
- 協賛商品の購入を通じて

「緑の募金」はいつでも、どこでも、だれでも参加できます!



公益社団法人

国土緑化推進機構

National Land Afforestation Promotion Organization



緑の募金

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 5階
フリーダイヤル 0120-110-381 FAX 03-3264-3974



http://www.green.or.jp
bokin@green.or.jp